

練馬総合病院・糖尿病研修カリキュラム

注) 新専門医制度移行の場合は速やかに対応して変更します

1. 糖尿病研修カリキュラムの目標

本カリキュラムは糖尿病学会の求める専門医研修カリキュラムに準じ、3年の履修で日本糖尿病学会専門医資格取得をめざす。内科全般の知識の上に、糖尿病の専門性を有して診療や教育、患者への生活習慣の指導のできる内科医育成を目標とする。さらに臨床現場における問題点、改善すべき点を科学的に捉え、学会、論文等に発表する能力を育成する。原則として初期臨床研修を終了後、1年以上内科学会教育病院もしくは教育関連病院で研修を行い認定内科医取得のためのプログラムを終了している必要がある。

2. 各年次における具体的目標

(1) 専修 1 年目

1. 専修医 1 年目は、内科全般の診療をしながら、初期研修期間中に経験できなかった症例を中心に経験する。
2. 内科医として必要な、診察手技の取得、検査の理解と実践、診断治療の知識を習得する。
3. 内科一般外来、救急外来を担当して新患、救急患者への診断治療を学ぶ。
4. 日本内科学会、糖尿病学会に入会する。
5. 月 1 回の抄読会を担当し、糖尿病領域における最近の論文を提示する。
6. 糖尿病症例検討会で症例提示をする。
7. 年度の後半からは、患者むけの講義の一部を担当し、糖尿病教育を体験する。
8. 糖尿病患者を担当する時は、診断・治療・生活習慣の指導を行うとともに、チームと協調し、リーダーとしての自覚を持つように努める。
9. 外科系入院患者の血糖・血圧を含めた周術期内科管理を指導医とともに学ぶ。
10. 脳血管障害患者を併発した糖尿病患者を脳外科専門医の指導の下で診断、治療を行う。
11. 症例検討会、糖尿病学会の年次集会、地方会などに発表する。
12. 安全管理の知識を病院全体の研修や回診を通して学ぶ。インシデントレポートを記載する。また医療事故分析会議 (Root Cause Analysis) に参加し、事故分析から対策立案まで経験する。
13. 院内の感染対策を理解し実践する。

(2) 専修 2 年目 :

1. 糖尿病専門医の指導の下、糖尿病患者・一般内科患者の病棟主治医を務める。
2. 初期研修医の内科全般にわたる指導をする。

3. 週2・3回程度、糖尿病外来・一般内科外来を担当し、外来管理を実践する。
4. 内科医、糖尿病専門医に求められる知識、技能、指導力（患者ならびにチームの）、運営法などを身に付ける。
5. 糖尿病グループカンファレンスで論文抄読を行ったり、その論文の批判的吟味役も担当し、evidenceの解釈方法についても体験する。
6. 糖尿病学会地方会、糖尿病学会総会など関連学会で発表する。糖尿病の院内セミナー、症例検討会の企画運営にもあたる。

(3) 専修3年目

1. 前年に引き続いて病棟、外来業務を務めつつ、チーフレジデントとしてレジデント全体の教育に関与する。
2. 糖尿病教育実務カンファレンスにおいて当院における糖尿病教育のあり方についての検討にも積極的に関与する。
3. 抄読会を運営する。
4. 患者会（練馬ラディッシュの会）への参加を通じて、患者会活動の運営企画を体験する。

<経験目標>

研修内容は、糖尿病学会が定める糖尿病専門医研修カリキュラムに準ずる。

a) 診断法；

成因（1型、2型、その他）と病態（インスリン依存、非依存など）を理解する。

糖負荷試験、インスリン分泌能検査（グルカゴン負荷など）、インスリン感受性検査等合併症について

急性；ケトアシドーシス、高浸透圧性昏睡、シックデイ、低血糖昏睡等

慢性；腎症（病期、病態などを理解）

神経障害（感覚神経、自律神経障害の病態などの理解、神経電動速度）

網膜症（病期についての理解）

大血管障害（頸動脈超音波法、大動脈脈波速度など）

b) 治療法；

食事療法を説明できる。

糖尿病性腎症の食事療法の指導ができる。

運動療法の適応と運動処方を指示できる。

経口糖尿病薬の根拠ある選択ができる。

インスリン療法の選択、指導ができる。

血糖自己測定の手順の指導ができる。

フットケアと指導、足壊疽のデブリドメントができる。

教育その他

1. 糖尿病内科回診（毎水曜 10：30～）：
毎水曜 10：30 から、教育入院患者、創傷ケア入院患者対象に回診する。
2. 新入院カンファレンス（月曜、水曜、金曜の 8：15～）：
新入院ケースをプレゼンテーションして、担当患者を把握するとともに、治療方針の立て方などを学ぶ。
3. 糖尿病センター症例カンファレンス（毎水曜 17：30～）：
病棟の入院患者について看護師や管理栄養士などを含めてカンファレンスを行い、治療方針などを話し合う。必要に応じて業務に関する話し合いも行う。
4. グループカンファレンス（毎木曜 18：00～）：
雑誌の抄読、トピックについてのディスカッション、研究報告、治験説明などのカンファレンスで他職種も参加する。